



## はじめに

今年、第二次世界大戦が終わって、六十八年目にあたります。戦争を体験された方も高齢になられ、苦勞されたこと、お辛かったことを、若い世代へ伝える機会が少なくなっており、私たちは、戦争のことを遠い記憶として忘れがちになってきています。

札幌市では、平成四年に平和都市宣言を行って以来、戦争のない平和な世界の実現を願って、この宣言の理念を広く市民に普及・啓発するため、様々な事業を毎年実施してきました。

特に、平成二十年度からは、原爆投下や終戦といった日本人として忘れてはならない日々が集中している八月を平和月間と定めるとともに、各区役所では、戦争を体験された札幌市民のお話を聞き取り、記録していく事業をスタートしました。これは、地域にお住いの戦争を体験された方から直接、地域の子供たちへ語り継ぐ事業です。

この本は、そのときに語られた、戦争の苦しみや辛さ、平和への想いなど札幌市民の貴重な体験談（平成二十三年度分）を、次の世代の子どもたちへ伝えていきたいという思いから生まれました。

なお、本冊子に掲載されている体験談を含め、これまで記録してきた体験談については、平成二十四年に札幌市平和都市宣言20周年を記念して開設されたホームページ「札幌市平和バーチャル資料館」(<http://www.city.sapporo.jp/ncms/shimin/heiwaw/>)に掲載されています。また、同ホームページでは、戦争体験者の証言動画も掲載されています。学校の授業などの機会を生かして、より多くの子どもたちにこの体験談を読んでもいただき、戦争体験者の生の声に触れることで、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、さらに次の世代へ、未来へと大切に語り継いでいってくださることを期待しています。

最後になりますが、御協力いただいた語り手の皆様並びに監修いただいた西田秀子氏及び関係各位にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

平成二十五年（二〇一三年）三月

札幌市長 上田文雄